

主張論証型レポートの攻略法

レポート作成講座 第3回

2013年12月3日(火)16:30-18:00

於 帝京大学メディアライブラリーセンター
帝京大学総合教育センター

上岡 真紀子 mueoka@main.teikyo-u.ac.jp

レポートとは

- なんらかの「問い」に対する「答え」を書いたもの

「問い」

* 答えるべき「問い」は、教員が与える場合と自分で設定する場合がある

← なぜそう言えるのかの理由を書く

「答え」 = 結論

レポートには、「答え」を導くまでのプロセスを書く

今回は

- 主張論証型レポート

「問い」



← なぜそう言えるのかの理由を書く

「答え」 = 主張(結論)

なぜそう言えるのかの理由

「なぜなら・・・」

× 私がそう思うから、そう感じるから、
良いと思うから、良くないと思うから・・・ 感想文！

○ 図書や雑誌，新聞などに書いてあった，
統計，各種調査などの分析の結果・・・

➡ 根拠 : 主張の根拠は信頼できるものでなければならぬ

事実と意見

- 事実

「アメリカ合衆国の大統領はオバマ大統領である」* 公理などみんなが知っていることであればOK

事実 ← 必ず証拠(データ)を示す

- 意見(主張)

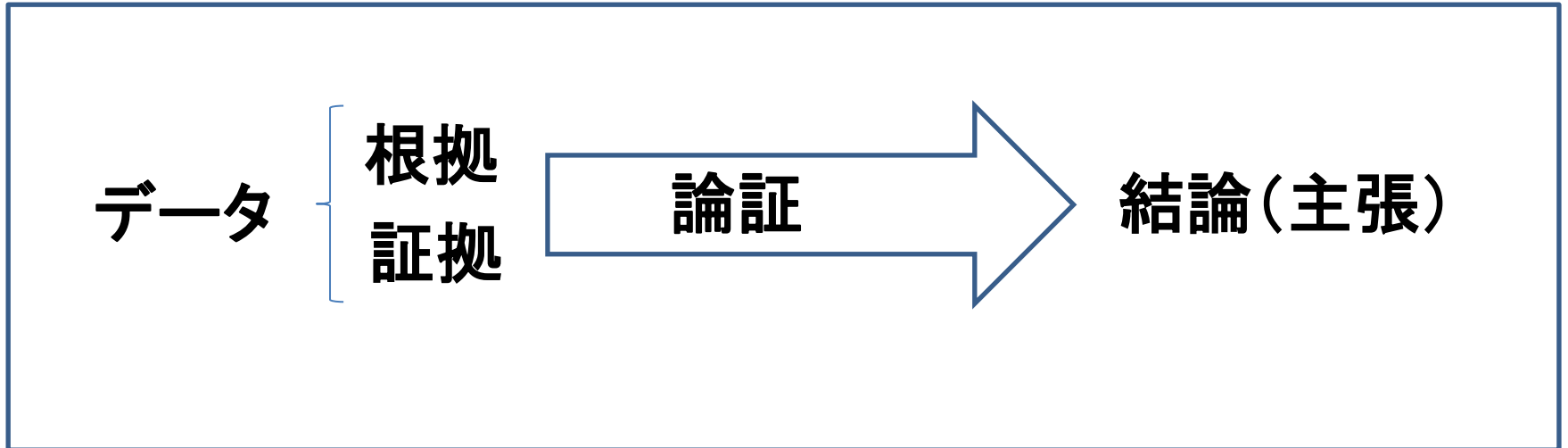
「オバマ大統領は良い大統領である」

➡ 意見には必ず反対の意見が存在する

意見・主張 ← 必ず根拠(データ)を示す

論証

- 根拠や証拠や根拠から結論を導き出すこと



主張論証型レポートでは

- 主張論証型レポート

「問い」



← なぜそう言えるのかの理由を書く
= 論証する



「答え」 = 主張 (結論)

レポートの型

- 序論：問いの提示
- 本論：答えを導くための論証
- 結論：答えの提示

レポートの型

- **序論**
レポートで扱う問いの提示(と説明)および、答えを導く方法(どのように論証するのか)を説明するパート
- **本論**
論証パート
 - ・事実や分析に基づいた論証を積み上げていく(第3回)
⇔ 異なる意見を対比させることによって、自分の主張の根拠を浮かび上がらせていく(第4回)
- **結論**
論証のまとめとそこから何が言えるのか＝主張を示すパート

+ 引用文献リスト

序論

- 問題設定(と説明, 問題の現状分析や背景など)
+ このレポートで何をするのかを述べる

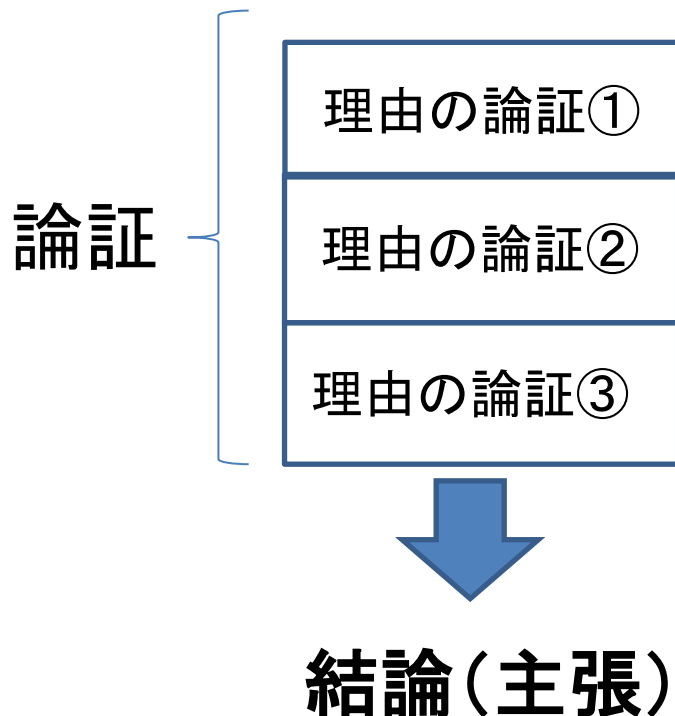
→ 目標規定文を入れる

「このレポートでは, ○○(問い)について, 一一の
観点(理由)から~~(主張)であることを述べる。」

* とりあえず書いてみよう...後で修正可

本論

- 証拠や根拠の提示によって論証を積み上げていく

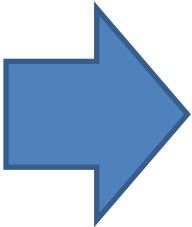


- 3つの点(理由)を述べるのであれば, 3つの段落を作成する
- 一つの段落では一つの理由(主張)についてだけを書く
- 各段落は, 理由(主張) + 理由(主張)をサポートするデータと分析で構成する

結論

- 議論の総括

①論証(本論での議論)から何が言えたのかを簡潔にまとめた上で, ②問いに対する答えを提示

- 
- 論証型レポートでは, 積み上げ部分の **構成**が重要

構成: 何をどのような順番で書いていくか
レポートを書くには構成を練る必要がある

本日のワークへ!